

小宮山弘道編
啓蒙博物學

二

福岡第一師範學校
(學校圖書)

分類部	號
門	
部	
種	
冊	
分冊	
第	460.0

博物學

博物學

5冊

0.4201

T 1A1

46

Ko 65

第三綱 爬蟲

爬蟲ハ脊椎動物ニシテ、血ハ赤ケレド、冷ナリ而シテ、靜動二脈ヲ

具有

スト

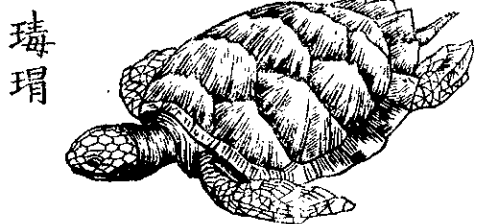
雖モ、

充全

ノ者

ニア

ラズ、



玳瑁

啓蒙博物學卷二

小宮山弘道 編

脊椎動物第三 爬蟲

龜類

名稱 玳瑁

部分 甲、十三枚相聯ナリ、恰モ鱗狀ヲ

ナス、色、黒褐ニシテ、而シテ淡黄ノ斑

アリ、腹部、白クシテ、而シテ淡黒褐ノ

斑アリ、○口吻、鷹ニ類シ、上唇彎曲シ

テ、下唇ヲ覆フ、足趾、鱗形ヲナシ、爪、二

心臓、二上房ハ、縦隔ニ由リ、判然、相區分スルモ、下房ハ、隔壁ノ發育不全ニシテ、宛然、一下房ノ狀ヲナス、然レモ、鰐類ハ、獨リ、分隔セル四房、即チ上二房、下二房ヲ有ス、呼吸ハ肺ヲ以テス、鱗アルモノアリ、甲アルモノアリ、後頭顚、單一ナリ、其容、良

箇アリ、前肢長ク、後肢短シ、○尾最モ短ク、大サ、大ナル者、三尺ニ餘レリ、
常習 熱地ニ産シ、常ニ海中ニ棲ミ、魚類ヲ食ス、
効用 甲中ノ黄黒斑ヲ以テ、筭櫛等ヲ造リ、裝飾ノ用ニ供ス、人々最モ之ヲ貴重ス、肉モ亦食スベク、味至テ美ナリト云フ
附説 瑇瑁製ノ櫛筭等ヲ稱シテ、單ニ鼈甲ト云フ、是ハ幕府時代、世間ノ驕

死ニ至ルマデ變化スルモノナシ、

第一目 龜類

全體ハ、多少、甲ニ蓋ハ

レ、脊椎

骨ハ、横

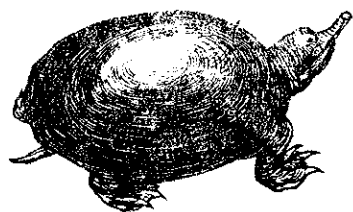
突起ノ

肋膜狀

ノモノ

ト相附

着シタ



納鼈

奢ヲ矯メタリシキ、無論、瑇瑁ノ櫛筭等ヲ用フルヲ禁シタリ、爾來、世人ハ此禁制ニ觸ル、ヲ恐レ、鼈甲ノ變名ヲ附シタルナリト、

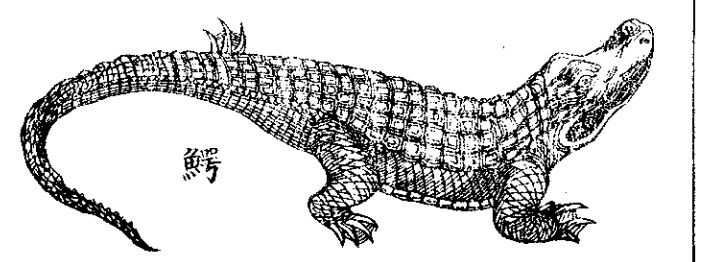
名稱 納鼈

部分 甲、扁凸ニシテ、甚タ薄シ、四邊ニ肉裙アリ、口、長クシテ、鳥嘴ノ如シ、○四肢、極メテ短ク、利爪アリ、尾、太ク短シ、

常習 湖池沼澤ニ棲ム、小魚蛙鰕ヲ常

ル皮骨ヨリ成ル而シ
テ其上ニ角質ノ甲ア

リ此
類ハ
齒ナ
ク顎
ニ角
質ノ
鞘ア
リ鼻
孔ハ



食トス春日陸地ニ上リ沙中ニ卵ヲ
生ム

効用 肉味佳ナリ嗜ミ食フ者多シ

鱷類

名稱 鱷

部分 頭圓クシテ扁ナリ口細クシテ

長シ齒牙上下共ニ頗ル鋭シ○眼大

ニシテ光射ルカ如ク前肢ハ五趾ヲ

具シ後肢ハ四趾ヲ具ス尾最モ長シ

○全體頭部ヲ除キ悉トク鱗ヲ被ル

骨部 至レバ單一ト
ナル鼓膜ハ表部ニ見

ハレ眼ニ瞼アリ

鼉龜、蟻龜、玳瑁、秦龜、水

龜、納鱉ハ此種族ナリ

第二目 鱷類

表皮ニ骨甲アリ鼓膜

ハ瓣下ニアリテ外ヨ

リ之ヲ見ル能ハズ鼻

孔ハ單一ニシテ鼻端

ノ中心ニ開キ遙ニ咽

毛色 上部ハ帶黑褐色下部ハ帶黃白
色ナリ

常習 熱帶地方ニ棲ミ川流渚澤ニ羣

居ス性猛惡叢澤ニ埋伏シ人獸ヲ害

ス

附説 埃及國人ハ鱷ヲ尊崇シテ神ト

ナシ爲ニ堂宇ヲ建立シ之ヲ祀ルト

云フ

蜥蜴類

名稱 石龍子



<p>部分 頭小口大腹肥へ四肢短シ尾長クシテ斷チ易ク全體細鱗ヲ被ムル</p>	<p>○背ニ五線アリ相疊重シテ瓦狀ヲナス○色灰褐色ニシテ澤アリ</p>	<p>常習 草蕪石間ニ棲ミ時々徐行シテ小蟲ヲ捕ヘ食フ其走ルヲ甚タ疾シ</p>	<p>名稱 蛇類</p>	<p>名稱 黃領蛇</p>	<p>部分 頭小口頸長シ口尖リ眼銳シ全體細クシテ最モ長ク足著ルキ形ナ</p>
---	-------------------------------------	---	---------------------	----------------------	---

ナシ齒牙替換ニ當リ新齒發生ノ地ヲ遺ス

第三目蜥蜴類

體ニ角鱗或ハ角板アリ又足ヲ具セザルモノアリ眼臉橋キ鼻孔分隔ス鼓膜ハ外面ヨリ見ルヲ得ベシ齒ハ只顎ノ表皮ニ生シテ甚タ淺シ

石龍子蛇舅母蛤蚧守

<p>シ○色灰黑色ニシテ黃色ヲ帶ビ脊ニ三條ノ黑線アリ或ハ淡黒ノ斑文アリ○腹白クシテ領ニ黃色ノ環アリ身長大小一ナラス</p>	<p>常習 叢澤ニ棲ミ時々村家ノ屋梁ニ上テ鼠ヲ捕食シ或ハ穀倉ニ入テ米穀ヲ食ヒ或ハ鳥雛卵ヲ食テ生活ス</p>	<p>此蛇ハ頗ル大ナルモノアリト雖モ人獸ニ害ヲ加フルコトナシ然レ氏身ヲ衛ルハ尾ヲ以テ敵ヲ捲キ倒ス</p>
---	--	--

宮等皆種族ナリ

第四目蛇類

體長クシテ角質ノ鱗

ヲ被ル此類皆足ナシ

稀ニ

一對

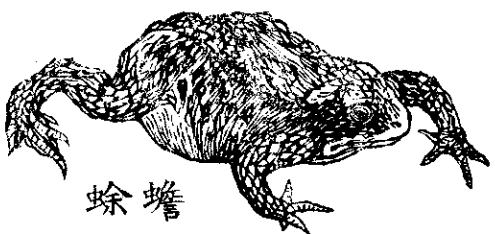
不全

ノ後

肢ヲ

有ス

ル者



蟾蜍

アリ

脊椎動物第四 水陸並生

魚尾類又蝦蟆類

名稱 蟾蜍

部分 頭扁小ニシテ口大キク齒無シ

眼大ニシテ光アリ前肢短ク後肢長

シ○體肥大ニシテ背ニ痲瘤アリ雌

ハ最モ肥ユ○色蒼黑又ハ赤黄ニシ

テ腹部ハ淡黄色ナリ○喉下及ビ腹

部ノ淡赤色ナルモノヲ赤蟾蜍ト謂

アルノミ然レ氏多ク

ハ肋骨二百乃至三百

ヲ具シ其下端ニ遊離

シ運轉

自在ナ

ルヲ以

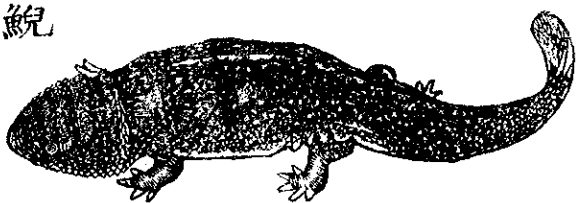
テ能ク

走行ス

鼻孔二

ヲ具シ

齒ハ顎 鮠



フ

常習 人家ノ床下或ハ穴中ニ棲ミ白

畫出ルヲナク黄昏ニ這出シ蚊蛇其

他ノ小蟲ヲ食フ性鈍行歩甚タ遲緩

ナリ

効用 肉ハ滋補ノ効アリ炙リテ食ス

レバ味最モ佳ナリ

有尾類

名稱 鮠

部分 頭扁圓ニシテ口闊大ナリ眼小

上ニ列ス、胸骨及ヒ鎖骨ナシ、方骨ハ動作シテ、而シテ下顎骨ハ延長シ得ベキ軟帶ニテ接着ス、此類多クハ卵生ナリト雖モ、胎生ノモノ間、之レアリ、蝮蛇、飯匙倩蛇婆、ヒバカリ、赤棟蛇、チムクリ、黄鎖蛇等、此族種ナリ、

第四綱 水陸並生

サク、臉アリ、○前肢、四趾、後肢、五趾、幼稚ノ時ハ、鰓アレドモ、後年、全ク之ヲ消亡ス、○全體、凸點アリ、色、黑褐ニシテ、大小ノ黒斑アリ、腹部、灰白色ヲナス、○身長、七八寸、大ナルモノハ、尺餘アリ、

常習 多ク山邊ノ渚水ニ産シ、水中ニ棲ミテ、小蟹、小魚等ヲ食シ、時々、陸ニ出テ、空氣ヲ呼吸ス、

附說 地質學者ハ、鯢魚ハ前世ノ動物

此綱ニ屬スル所ノ動物、亦冷血ナルヲ以テ、

昔日ハ之

ヲ爬蟲ト

混同セシ

ト雖モ、彼

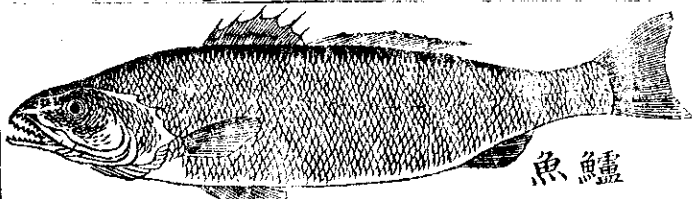
此相異ナ

ル所アル

ヲ以テ、現

ニ之ヲ水

陸並生ノ



魚 鱸

ニシテ、現ニ滅絶シタルモノトヤシニ、先年、シーボルト氏、我國ニ於テ、之ヲ發見シ、有名ノモノトナリヌ、

脊椎動物第五魚

硬骨類

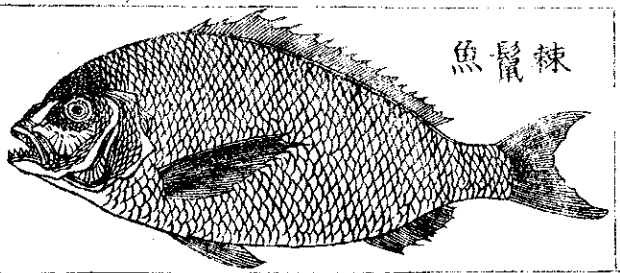
名稱 鱸魚

部分 頭口、俱ニ大キク、齒、鎌狀ナリ、尚、鰓蓋ノ縁ニ、齒及ビ刺ヲ有ス、○體長、クシテ、櫛狀ノ鱗ヲ被ムリ、色、白質ニ

一網トナス、乃チ水陸並生ハ他ト相異ナリ、幼稚ノ時ハ水中ニ生活シ、狀チ恰モ小魚ノ如シ、脚ナクシテ長尾アリ、鰓ニ由テ呼吸ス、蛙類ニアリテハ之ヲ稱シテ蚪蚪ト謂フ、稍長スルニ從ヒ、鰓ヲ消亡シ、肺ヲ發生スト雖モ、終生鰓ト肺トヲ以

黑章アリ、尾微ク岐ヲナス、○腹鰭ハ胸鰭ノ直下ニアリ、脊鰭ハ前線節ナクシテ、端尾尖ル、○身長、大ナル者ハ三尺餘アリ、
常習 河ニ棲ムモノアリ、海ニ棲ムモノアリ、性、錫ヲ好ム、故ニ錫丸ヲ以テ釣ルベシト云フ、
効用 肉ハ脂多ク、味美ナリ、鰯ハ乾カシテ鯖子トス、至テ珍奇ナリ、
附説 河鱸ハ脂多ク、味至テ美ナリ、海

テ、呼吸スルモノ亦稀ニ之レアリ、而シテ蚪蚪ノ如キハ、始メ後脚ヲ生シ、棘鬣魚ノ如キハ、先キニ前脚ヲ生



鱸ハ脂少ナク、味亦淡ナリ、此魚三四寸ナル者ヲ「セイゴ」ト曰ヒ、以上、尺ニ近キ者ヲ「ハネ」ト曰ヒ、以上、三尺許ナルモノヲ鱸魚ト曰フ、諸國四時共ニ之レアリ、特ニ夏月ヲ以テ美味トス、
名稱 棘鬣魚
部分 頭大ニシテ、口小ナリ、齒粗ニシテ、鋭ク、鰓蓋ニハ之レナシ、○鰭、硬勁ナリ、脊鰭一ニシテ、鋭ク、腹胸二鰭俱ニ尖リ、尾鰭、岐ヲナス、○全體、扁平ニ

ス、肥蟲ト相異ナル所以
ノ一徵ハ心臓ニ在リ
即チ、二上房一下房ハ
彼此相同シキガ如シ
ト雖モ、肥蟲ニ在テハ
下房ニ隔壁ノ痕迹ヲ
遺シ、水陸並生ハ之ヲ
見ザルヲ、是レナリ

第一目無尾類

此類ニ属スルモノハ、

シテ能ク肥へ、鱗ヲ被ムル雄ハ、色淡
黒ニシテ、紅ヲ帶ビ、雌ハ色、紅ニシテ、
外觀美麗ナリ、

烏鰂魚、金線魚、アカダイ、フエフキダ
イ等ハ、其部分、大同小異ニシテ、唯、色
澤斑文ヲ同シウセザルノミ、

常習 海生ナリ、性、粗暴貪食、常ニ他ノ
魚ヲ食フ、其最モ大ナル者ハ、人ヲモ
嚙ムト云フ、

効用 四時共ニ肉美ナリ、嘉儀ノ餽贈

體短ク、而シテ脚長シ、

唯幼時

ニ於テ

尾アル

ノミ、鱗

金線

蛙、山蛤

金襴子

兩蛤ハ

皆此種

族ナリ



鉛錘魚

又ハ、上饌ニ用フベシ、又新鮮ノ肉ヲ
摺リ、上味噌ニ和シタル者ヲ、鯛味噌
ト曰フ、

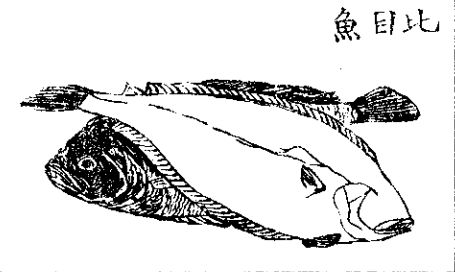
名稱 鉛錘魚

部分 頭大ニシテ、口尖リ、體扁平ニシ
テ、鱗ナシ、○鰭、脊鰭二箇ニシテ、尾ニ
達ス、腹鰭ハ胸鰭ノ直下ニアリ、尾岐
生ニシテ硬シ、○色、脊部蒼黒、脇部ニ
白條アリ、腹部白シ、
金槍魚、馬鮫、青花魚ハ、同種属ニシテ、

第二目有尾類

此類ハ體長クレテ而
レテ尾ヲ有ス、鰓ヲ具
スルモノアリ、或ハ之
ヲ缺クモノアリ、齒ハ

上下
ノ顎
ト口
蓋ニ
生ズ
鮫魚



部分概ネ相同シ、唯鱗ノ有無色澤斑
條ノ異ナルアルノミ、

〔常習〕 東南海ニ多ク産シ、北海ハ至テ
少ナシ、常ニ羣ヲナシテ、游泳ス、

〔効用〕 肉ハ食スベシ、此肉ヲ蒸シ、善ク
乾カシテ、硬固シタルヲ木魚ト曰フ、
保存久シキニ耐ヘ、重寶ノ品ナリ、

〔名稱〕 比目魚、ヒラメ

〔部分〕 頭小サク、口尖リ、眼、右邊ニアリ
テ、相並ヒ居ル、○齒、兩顎ニ生シ、兩鰭

鰭、鰓、黒魚ハ此族ナリ、

第五綱魚

此綱ニ属フル者ハ皆
水住ナリ、體ノ構造ハ
游泳ニ適シ、骨板ヲ有
スルアリ、鱗ヲ具スル
アリ、裸出身體ノ者ハ
甚ク罕ナリ、鰭ヲ以
テ肢ニ代ス、
袖經系ハ其發育他ノ
脊椎動物ニ及バズ、眼

頸ヨリ尾ニ達シ、尾岐ヲナサズ、○體

扁ニシテ薄ク、色、右邊黒ニシテ、細鱗

アリ、左邊白ニシテ、鱗ナク細文アリ、

ヒラメモ亦概ネ同シケレド、口下方

ニアリテ、微シク曲リ、齒、兩顎及ヒ咽

部ニアリテ、銳利ナリ、

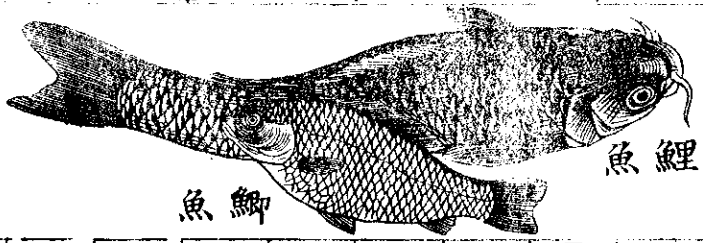
〔常習〕 各處ノ海中ニ産シ、深處ニ棲ム、

氣囊ナキガ爲ニ、常ニ腹部ヲ海底ニ

接シテ、游泳ス、

〔効用〕 肉味淡薄ニシテ、佳ナリ、上饌ニ

ニ脰ナ
久、眼球
ハ、只單
一ノ角
膜ト彈
丸狀ノ
硝子體
ヨリ成
ル、耳鼻
亦他ノ動物ノ如クナ
ラズ、而シテ舌アレヒ味



魚 鯉

用フベシ、

名稱 鯉魚、鯽魚

部分 頭小、眼大ニシテ、金光アリ、口小、

唇厚クシテ肉狀ヲナス、齒一行、若シ

クハ、二三行ニ列ス○鬚吻ヲ夾シテ、

二對アリ、鯽魚ハ之ナシ、鰭皆柔軟、尾

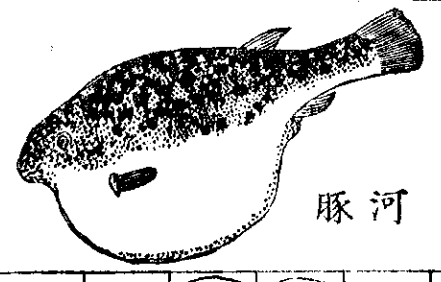
岐ヲナス○體扁ニシテ、善ク肥ニ、鱗

大ナリ、獨鯉魚ノ鱗ハ、淡黑質ニ黃色

ヲ含ム○色背部黒久、腹部淡黄ニシ

テ、光澤アリ、

感ノ缺キ、感觸ノ器ハ
概テ之ヲ具有セス、心
臟ハ上下二房ヨリ成
ル、鰓以テ呼吸ヲナシ
氣囊以テ浮沉ヲナス、
鰭ハ
顎骨
及ビ
口蓋
ニ生
ス、



豚 河

〔常習〕 諸國ノ河湖池沼ニ産ス、性活潑

勢強ク、力健ナリ、水草水蟲類ヲ常食

トス、

〔効用〕 軒トナシ、膾トナシ、煮トナシ、羹

トナシ、味共ニ佳ナリ、其浮囊ヲ以テ、

藥用魚膠ヲ製シ得ベシ、

名稱 河豚

〔部分〕 全體肥滿、腹特ニ脹大ナリ、頭圓

クシテ、大ニ、眼金光ヲ帶フ、○鰭、腹鰭

ナシ、鰭上下顎骨ニ象牙質アリテ、之

第一目有肺類

鱗アリ、肺ト鰓ヲ以テ呼吸ス、動脈柄及ビ腸中ニ螺旋狀ノ膜辦アリ、鼻孔ニ箇、口腔中ニ開口ス、鰭ニ雙隻ノ二様アリ、口ニ顎ヲ有ス、鰓ハ無囊ニシテ蓋ヲ有シ、骨格堅硬ナリ、此類鰐ハ概シテ南亞墨利カノ沼池又ハ亞非

ヲ代用ス、尾岐ヲナサズ、○全身鱗ヲ被ムラズ、色背黒ク、腹白シト雖モ、其種類ニ由リ、種々ノ斑彪ヲナス、

常習 凡ソ、魚ハ眼ヲ開閉セザレ氏、獨リ、河豚ハ之ヲ爲ス、性短急、物ニ觸ルレバ、即チ瞋ルト云フ、

附説 冬日春期ハ味最モ佳ナリトテ、好ンテ、之ヲ食フ人アレ氏、往々、毒ニ中テ斃ル、モノ、亦少ナカラズ、曾テ吾知人ハ、此毒ニ中ラレ、一家四人死

利加ノ河澤ニ産シ、我國ニ類ナシ、

第二目

硬骨類

鰓ハ鱗頭ニ

テ分レ、房狀

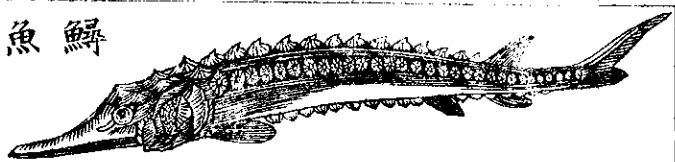
若レクハ櫛

狀ヲナス、蓋

アリテ之ヲ

覆フ、骨格ハ

硬骨ヨリ成



粘鱗類

名稱 鰐魚

部分 體骨質ノ甲ヲ被ムル、頭小サク、

鼻長ク出ツ、口、鼻下ニアリテ、蓋ナシ、

鬚四條アリ○鰭脊、胸、俱ニ長大ナリ、

尾上叟長ク、下岐短シ○背、胸、腹ノ三

部ニ粗大ナル沙鱗列ス、長四五尺以

上ナリ、

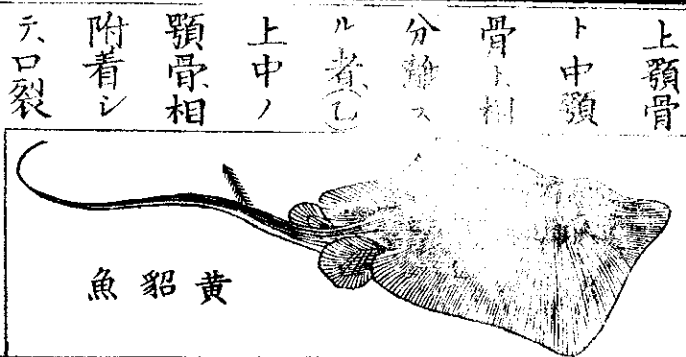
リ、動脈幹ノ根部ニ三箇ノ膜瓣アリ、視神經ハ十字形ニ交錯ス、鱗列ハ屋瓦狀ヲナサズ、現世ノ魚類ハ過半之ニ屬ス、

此類中、櫛狀ノ鰓ヲ有スルモノアリ、房狀ノ鰓ヲ有スルモノアリ、而シテ櫛狀ノ鰓ヲ有スル者ヲ分テ二トス(甲)

常習 性溫和食ヲ貪ボラズ、小魚類ヲ常食トス、諸國河海ニ産ス、我北海道ニハ、最モ多シト云フ、

効用 浮囊ヲ以テ、藥用魚膠ヲ製スベシ、其質透明、品格優等ナリ、皮ハ、鞘皮又ハ消摩用ニ供スベク、鰓ハ、鹽藏シテ、食用ニ充ツベク、肉亦調理シテ、食料トナスベシ、

軟骨類
名稱 黃貂魚



魚 貂 黃

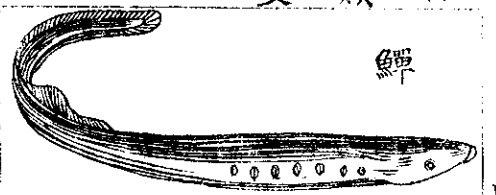
部分 體、扁薄ニシテ、稍圓狀ヲナス、頭扁小ニシテ、蟾蜍ニ似タリ、眼、大ニ、口、小ナリ、○鰓、殆ント體ノ周圍ニアリ、尾細ク長ク、全身裸出ス、○色、背部淡黑ニシテ、腹部稍白シ、又、其種類中ニハ、種々ノ斑點ヲ帶ルモノアリ、○長大ナル者ハ、七八尺、數人ニテ擔フモノアリ、

常習 主ニ東南海ニ産ス、他ノ侵凌ヲ受クレバ、尾刺ヲ以テ、敵ヲ螫ス、其痛、

ニトス、(一)脊鰭ノ前線
 節ナクレテ、端尾尖レ
 ルモノ、(二)脊鰭ニ悉ク
 節アルモノ、是レナリ
 鱸魚、梭魚、火魚、牛尾魚、
 鮎、虎魚、赤虎魚、石首魚、
 烏鰂魚、金線魚、棘魴魚、
 鰻魚、赤目烏、金鎗魚、鉛
 錘魚、馬鮫、青花魚、鰭海
 鰐、帶魚、琵琶魚、馬鞭魚、
 大口魚、比目魚、鞋底魚、

恐ルベシト云フ
効用 肉ハ食ニ供スベシ、肝臟ニ脂アリ、滋補ノ効ヲ呈ス、
附説 黃貂魚ノ同種ニ、木勺鮪ナルモノアリ、部分亦彼ニ類シ、唯異ナルハ、尾ノ細ク長キニアルノミ、此魚、東海諸國ノ海ニ産シ、尾ニ毒刺ナケレバ、鰓孔ノ左右内部ニ、許多ノ電池ヲ有シ、他ノ侵襲ヲ受レバ、直チニ電氣ヲ發シ、其身ヲ衛ル、故ニ、人之ニ觸ルレ

鰻魚、天鰻魚、鮭、鱒、香魚、鮭魚、泥鰌、鯉魚、鯽魚、鰻魚、似嘉魚、鰻鱺魚、狀鰻、河豚、翻車魚、海牛等ノ諸魚ハ皆此族ナリ、
 第三目
 粘鱗類
 表皮ニ菱形若シク
 ハ圓形ノ鱗ヲ被ム



バ、痙攣麻痺ヲ覺フト云フ、
圓口類
名稱 鰻
部分 全體ノ形、鰻ニ似タリ、頭長ク、口小サク、齒細小ナリ、眼圓大ナリ、○鰓、眼下ヨリ脇ニ沿テ、七箇アリ、鰭背鰭連ナリテ、尾ニ至ル、尾岐ヲナサズ、○色、蒼黒ニシテ、光アリ、腹部稍淡シ、長大ナルモノ、二三尺アリ、
常習 北國ノ河川ニ多ク産ス、頭側七

リ、或ハ骨質ノ甲ヲ被
ムル全體裸出ノ者、罕
レナリ、動脈柄ニハ、許
多ノ瓣膜ヲ具ヘ、浮囊
ニ氣口アリ、噴塩孔ヲ
有スル者、多シ、

鰈魚類ハ皆之
ニ屬ス、
第四目
軟骨類
骨格系軟ニシテ



魚 鰈

個ノ孔ニテ、空氣ヲ呼吸シ、其生ヲ遂
グ、

効用 寒中、氷ヲ破テ捕ヤシ者ハ、大ニ
滋補ノ効アリトシ、藥用ニ供スレバ、
調理、其方ヲ得レバ、食用トナスヲ得
ベシ、

管心類

名稱 蛞蝓魚

部分 全體ノ形、蛞蝓ニ似タリ、頭、小ニ
シテ圓シ、鱗ナシ、鰭、胸腹俱ニ之ヲ

鰈、鰈、皮膚ニ角質ノ
刺ヲ具ヘ、或ハ裸出ノ
モノアリ、鰓ハ五箇ノ

缺キ、唯、不全ナル背鰭ト尾アルノミ、
（常習）地中海ニ産ス、常ニ水底ニ潜伏
シテ、生活ス、

無脊椎動物第一 有頭軟體蟲

二鰓類

名稱 烏賊

部分 體、小囊ノ如クシテ、扁シ、眼圓大、
口、腹下ニアリテ、微シク曲ル、骨體
中、纔カニ、一片ノ脆骨アルノミ、之ヲ



囊中ニ
位シ、鰓
蓋ナシ、
多クハ
噴塩孔
ヲ有シ、
氣囊ヲ
有セズ、
賊 烏

黄貂魚、木与鮪、鰭、鰭、
斗鯊、カスザ、等之ニ
属ス、

第五目圓口類

口ニ顎骨ナク、唇ニ圈
状或ハ半月形ノ肉ア
リテ、物ヲ咀嚼スルニ
適セズ、唯、物ニ附着シ、
吸吮スルノミ、鰓ハ小
囊形ヲナシ、鰓孔數箇
ヲ有ス、氣囊ナシ、全身

名ヅケテ海鰓蛸ト云フ○肢、十箇ア
リ、其二箇ハ頗ル長シ○八肢ハ内面
ニ悉ク吸盤ヲ具シ、長二肢ハ其端ノ
内面ニ之ヲ有ス○色、淡黒ニシテ、斑
點アリ、

(常習) 諸國海中ニ産ス、二箇ノ長肢ヲ
以テ、食餌ニ吸着シ、之ヲ捕食ス、其敵
ニ逢フキハ、墨汁ヲ噴出シ、跡ヲ暗マ
シテ、之ヲ避ク、

(効用) 海鰓蛸ハ、或ハ粉碎シテ、乾劑ト

滑カニシ、纔カニ鱗痕
ヲ存ス、胸腹ノ二鱗、之
ナシ、鰓、之ニ属ス、

第六目

管心類

魚類中ノ

最下等ニ

位
ス、
口
ニ
章魚

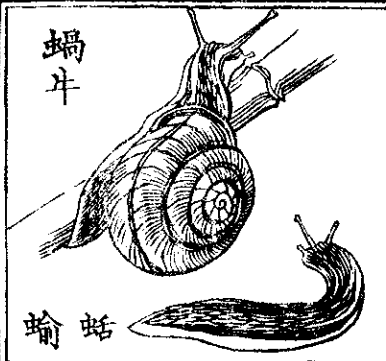


ナシ、或ハ燒末シテ、齒磨粉トナシ、其
他、百工上ニ於テ、磨礪ニ用フ、肉ハ調
理シテ食フベシ、又同種ノ柔魚ハ、或
ハ鹽漬トナシ、或ハ乾燥シテ、貯存ノ
食料トス、

名稱 章魚

(部分) 眼、圓大、脚上ニアリテ、突出ス、
體小囊ノ如クシテ、橢圓形ナリ○肢、
八個、二列ノ吸盤ヲ具ス、色、白質ニ微
シク赤ヲ含ム○長、大ナル者ハ、大凡

顎骨ナク、齒ナシ、又心臓ヲ有セズ、許多ノ血液之ニ代ハ血液無色ナリ、脊髄アリト雖モ、髓ナク、鰓アリト雖モ、孔ナシ、唯、纔カニ有脊



蛞蝓

蛞蝓

八九尺乃至一二丈アリ

常習 海中ニ棲ミ、晝間人ナキヲ窺ヒ、

海濱ノ圃地ニ登リ、茄子、又ハ芋ヲ食

ス、其陸地ニ上ルキハ、八足ニテ直立

シ、至テ健足ナリ、

効用 全體食用ニ供スベシ、

蛞蝓類

名稱 蛞蝓、蛞蝓

部分 頭小サク、長短二對ノ肉角ヲ戴

ク、○眼、長角ノ上ニアリ、口、短角ノ下

動物ノ痕跡ヲ具フル

ノミ、蛞蝓魚之ニ属ス

第二部 無脊椎動物

體ノ左右同形ナル者

アリ、或ハ然ラザル者

アリ、脊椎骨ナク、運動

機ナシ、筋衣トテ、軟系

ノ皮全體ヲ包被スル

者アリ、或ハ甲殻トテ、

石灰質ノ全體ヲ被フ

者アリ、體中ニ脈管ア

リ、神経系ハ、神経系ト

ニアリ、○體細クシテ、長シ、蛞蝓ハ扁

圓圈狀ノ殼ヲ衣、蛞蝓ハ裸ニシテ、兩

脇ニ肉裙アリ、○色、灰白色ニシテ、背

ニ細黒點アリ、全身粘液多シ、

常習 陰濕ノ地ニ産ス、冬日ハ土中又

瓦石ノ間ニ蟄シ、春期、暖雨ニ乗ジテ、

出ヅ、匍匐スルキハ、兩角ヲ伸シ、物ニ

觸ルレバ、之ヲ縮ム、蔬菜等ノ嫩芽ヲ

食ヒ、多以作物ニ害ヲ被ムラシム、蛞

蝓ハ性、食鹽ヲ忌ム、故ニ、食鹽ニ觸ル

神經塊

ヨリ成

ル眼耳

ヲ有ス

ル者多

シ其水

石決明



中ニ生活スル者ハ鰓

ヲ以テシ陸地ニ棲息

スル者ハ肺狀ノ呼吸

機ヲ以テス消化機ハ

頗ル發育スル者ナリ

第一綱有頭軟體蟲

レバ忽チ死ス

名稱 石決明

部分 體一面肉ニシテ一面ニ介ヲ被

ル形楕圓ニシテ扁シ○肉ノ外面淡

赤ナルハ雌ナリ淡青ナルハ雄ナリ

正肉ハ兩カラ白シ○肉ノ四邊ニ肉

裙アリ名ヅケテ鰓ノ耳ト云フ

常習 海中ノ岩石ニ吸着ス時々半バ

介ヲ出デハ跛行ス宛モ蝸牛ノ如シ

効用 生肉煮肉共ニ美味ナリ又肉ヲ

頭部ハ判然軀幹ト相

別ルノ周邊ニ手ア

リ觸覺運動感觸ハ機

器ヲ兼有ス之ヲ名ヅ

ケテ頭足

文蛤

類ニ云フ

第一目

二鰓類

筋衣ノ基

礎ニ二箇

ノ鰓アリ

眼ニ柄ナ



無脊椎動物第二 無頭軟體蟲

雙介類

名稱 文蛤

部分 介左右二個同形ニシテ外面凸

隆シ内面凹陷ス○體介中ニアリテ

久口ニ角質ノ顎アリ、
 手細長ニシテ、内側ニ
 許多ノ吸盤ヲ排列ス、
 體中ニ一墨胞ヲ具ス、
 危急ニ遭ヘバ、墨汁ヲ
 射出シ、護身ノ具トス、
 此類、十足、八足ノ別アリ、
 烏賊、柔魚、小蛸魚、ハ
 十足ナリ、章魚、魷魚、ハ
 八足ナリ、共ニ此類ニ
 属ス、

第二目 蝸牛類

<p>膜アリ、唇アリ、腸アリ、又介ヲ開閉ス、 ハ、靱帶ヲ有シ、且、前後ノ内轉筋ヲ有ス、</p>	<p>常習 海中、淡水ノ集マル處ニ、多ク産ス、</p>	<p>効用 炙肉、煮肉俱ニ美味ナリ、勢州桑名ノ名産ナル、時雨蛤、燒蛤ノ如キ、是レナリ、</p>	<p>單介類</p>	<p>名稱 牡蠣</p>
---	------------------------------------	--	------------	---------------------



有齒ノ舌ヲ有シ、腹部ニ足ヲ具ス、
 蛸、蝸牛、又ヒ田螺、貝子、梭尾螺、拳螺、石決明、皆之ニ属ス、

<p>部分 介個々相塊集シ、外形、佛掌芋ニ似タリ、内面、肉アル處ハ、光澤アリ、○肉ハ、括囊狀ニシテ、多ク水分ヲ含ム、</p>	<p>常習 海中ノ岩石ニ相集マリテ、附着ス、</p>	<p>効用 肉ハ、食料ニ供スベシ、煮肉ト生肉ト、相比スレバ、生肉ハ消化シ易ク、且、滋養多シ、殻ハ、燒テ、石灰ヲ製シ、諸用ニ供ス、</p>
---	-----------------------------------	---

第二綱無頭軟體蟲

二個ノ外殻ヲ有シ、靴

帶ニ由

テ之ヲ

開閉ス、

鰓ハ葉

狀ニシ

テ皮囊

中ニア

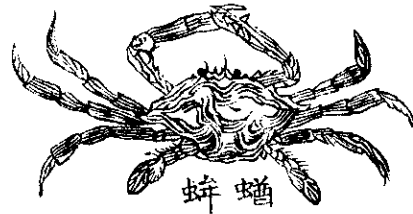
リ、

第一

目



石蟹



蛸蟻

無脊推動物第三 多節蟲

甲殼類又蟹蝦類

名稱 蛸蟻、石蟹

部分

脚、左右各四個、其前ニ當リ、一對ノ大脚アリ、甚々太シ、末ニ剪狀ノ大鉤爪ヲ着ス、螯是レナリ、○眼、突出シ骨眼ナリ、○甲、横ニ潤久、兩端刺ニ終ル、大サ七八寸、色、赤黑質ニシテ白斑アリ、

石蟹、蟻ハ甲ノ形狀、足ノ長短等稍異

管貝類

雙殼ノ外ニ、石灰質ヨ

リ成リシ、一管ヲ有ス

ルモノ、皆之ニ屬ス、

第二目雙介類

二個ノ介殼ヲ有スル

者皆之ニ屬ス、淡菜、蜆

仔、文蛤、蜆ノ種即チ是

ナリ

第三目單介類

一個ノ介殼ヲ有スル

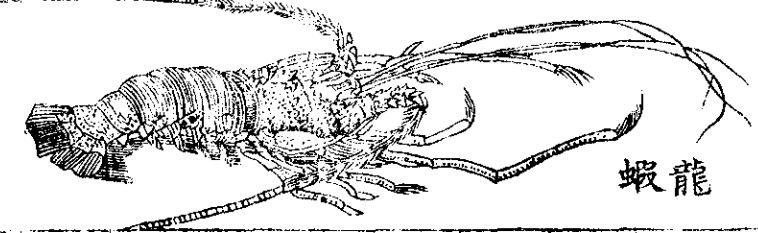
者、即チ牡蠣ノ種皆之

ナル所アレ氏其部分概不、大同小異ナリ、

常習

海中ニ棲ム、體ノ構造、直行スル能ハズ、常ニ横走スルヤ、快速ナリ、性物ニ驚キ易シ、月明ノ時ハ、穴ニ潜伏シ、暗夜ニ這出シテ、食ヲ索ム、月夜蟹ハ肉少ナシトハ、蓋シ此理由ナラン、蟻亦海中ニ棲ム、多ク北海ニ産ス、此蟹ハ石隙中ニ居リ、其螯ヲ出シ、食餌ヲ捕ヘ食ス、其力、最モ強シト云フ、石

ニ属ス、
第三
綱多
節蟲
外部ニ
堅硬ナ
ル甲殻
ヲ被ハ
内部ニ
筋肉ア
リ延テ
中空有



龍蝦

蟹ハ山間溪澤ニ棲息ス、

効用 皆其肉美味ナリ、人好シテ食ス、
獨リ、山蟹中ニハ食フ可カラザル、種
類アリト云フ、

名稱 龍蝦

部分 頭頗ル大眼、骨眼ニシテ突出ス、
紫黑色ノ光アリ、○鬚二對アリ、殻堅
硬、環々相連ナルノ觀ヲナス、○足脚
左右各五個、尾恰モ花瓣ノ如シ、○色
赤黒長、通常六七寸、大ナル者ハ、尺以

節ノ足内ニ及ブ、又神

上アリ、

經アリ、結節ニ列ニ連
ナリ、神經絲ヲ以テ、相
交通ス、呼吸機ハ、或ハ

此蝦ノ種類多シ、グルマエビ」ビヤモ
シエビ」等は是レナリ、

氣管ヲ以テシ、或ハ皮

常習 海中ニ棲ム、勢州相州ノ海多ク

膚金表ニヨル、血液冷
ニシテ、無色ナリ、匍匐
スル者アリ、飛翔スル

之ヲ産ス、故ニ伊勢蝦、鎌倉蝦ノ稱ア
リ、水中ニアリテハ、舉動活潑、陸地ニ
上ルモ、數日間死カス、

者アリ、游泳スル者アリ、
潛伏スル者アリ、

第一目甲殻類

此類ハ多ク水中ニ棲

効用 肉味殊ニ美ナリ、一名海老ト稱
シ、婚姻賀壽ノ饗筵ニ用ス、
蜘蛛類

息スル

者ニテ

胸部若

シクハ

腹部ニ多節ナル足脚

ヲ有ス、概ス、鰓ニテ呼

吸ス、外殻ハ堅硬ナル

ノミナラズ、水中ヨリ

石灰ヲ資リ之ヲ體外

ニ裝ス、恰モ、一外骨ノ

如シ、且、定時ニ、外殻ヲ

脱キ、新殻ヲ造ルモノ



蜘蛛

名稱 土蜘蛛

部分 頭小サク、胸部ニ接ス、鬚二條アリ、胴至テ細シ、○脚胸部ニ八個アリ、疎毛ヲ生ス、○色、灰色ニシテ、黒點アリ、

常習 樹間或ハ壁間ニ網ヲ張テ、其内ニ棲ミ、小蟲ノ網ニ罹ルアレバ之ヲ捕ヘテ食餌トス、

附説 蜘蛛ノ英雄豪傑ニ因アルノ話、少ナカラズ、即チ、蘇格蘭ノ勇將ロバ

ート、ブリュース氏ノ敗陣後、更ニ勇氣ヲ回復シテ、勝ヲ決セシハ、蜘蛛ノ網ヲ張ルヤ、屢、風ノ爲ニ敗ラル、モ、

アリ、

蟪蛄、石蟹、蟻、蜉蝣、龍蝦、青蝦、蝦、蛄、海蛆等ノ類、皆之ニ屬ス、

第二目 蜘蛛類

此類ハ頭胸ノ兩部、密接シテ、全身ヲ成ス、眼、圓體脚、八箇ヲ具ス、當、初ヨリ別ニ形ヲ變ゼズ、只屢、外皮ヲ蛻スル性アリ、呼吸機ハ體皮、全表又ハ氣囊ノ伸縮

ガ爲メナリ、

中ニ隱レ、楚ノ囚トナラザレハ、井頭ニ蜘蛛ノ網ヲ懸ケシガ爲メナリ、土

肥實平等ガ、僵樹ノ空洞ニ潜伏シ得タルモ、亦洞内ニ蜘蛛ノ巢ヲ營ミシ

金表又ハ氣囊ノ伸縮

ニ由テ之ヲナス皆卵
生ナリ獨リ蟹ハ然ラ
ズ

土蜘蛛、絡新婦、蠅虎、恙
虱、壁蝨ハ皆之ニ属
ス



馬尾蜂

關節蟲
體ハ左右同形ニシテ、
數節ヨリ成リ、空洞多
節ノ附部觸毛ヲ具ス

關節動物 六脚蟲

膜翅類

名稱 蠟蟬又馬尾蜂

部分 頭圓ク、眼大ナリ、鬚長ク、翅一對

アリ、脚六足、後足長シ、○全體腰瘦セ

テ、縷ノ如シ、下部圓ク、肥ユ、○色深黒

色、尾ニ螫針ヲ具ス、甚タ鋭シ

常習 夏月竹葦ノ管中又ハ人家ノ柱

等ニ穴ヲ穿テ、泥土ヲ以テ、巢ヲ造リ、

表皮ハ「ヒチン」(雨露ニ
遭テ腐
敗セザル一種ノ
物質ヲ謂フナリ)ヨリ

成リ、心臟ハ管狀ニシ

テ、許多ノ物質ヲ成

ル而シテ、脉管ハ完全

ナラズ、呼吸ノ作用ハ

氣管ニ於テス、罕レニ

鰓ニ由テ、
呼吸スル
蜂



多クハ、輸
尿管ヲ具



小蟲ヲ充テ、其體ニ卵ヲ生ム、

効用 蚜蟲、及ヒ他ノ害蟲ノ體ニ卵ヲ

生シ、爲ニ之ヲ斃ス、是ヲ以テ、間接ニ

農家ノ益ヲナスヲ、少ナカラズ、心ア

ル者ハ、宜シク此益蟲ヲ保護セザル

ベカラス、

名稱 蜜蜂

部分 概テ前者ト同シ、○全體、蜜ニ似

テ、狹小、背ニ細毛アリ、色微黃色ナリ、

長四五分内外ナリ、

ノ神經系統ハ喉部ニ
アル神經塊ト腹部ニ
於ル許多ノ節塊ヲ有
スル所ハ絲體ヨリ成
ル

第一綱有節蟲又六
脚蟲

血液ハ白色ニシテ氣
管ニ由テ呼吸ス體ハ
頭胸腹ノ三部ヨリ成
リ脚六箇ニシテ許多
ノ關節ヲ有ス羽翅ハ

(常習)

山野ニ自生ノ者アリ人家ニ養
養ノ者アリ皆群ヲナシテ生活ス此
蜂ハ頭ニ吸機ヲ具シ花頭ノ甘液ヲ
吸ヒ之ヲ分泌シテ蜜漿又黃蠟トナ
シ巢中ニ貯ヘ冬日ノ食トス群蜂中
一ノ女王ヲ戴ク蜜公ハ即チ其婿ナ
リ羣蜂ノ女王ニ奉仕スルヤ恰モ君
臣ノ如ク皆日々勞動シテ蜜漿ヲ釀
シ幼兒ヲ養育ス然レモ蜜公ハ女王
ノ婿タルヲ以テ勞セズシテ坐食ス

二箇若シクハ四箇ア
リテ能ク動作ス體ノ
前部ニ口アリ後部ニ
肛門アリ

第一目膜翅類

其體狹長ニシテ頭ハ
能ク動作ス眼ハ許多
ノ集成ニ係リ其形大
ナリ三箇ノ點樣割眼
ヲ有ス胸部ハ脊部ニ
於テ纔カニ相癒着シ
羽翅ハ裸出皮様ニシ

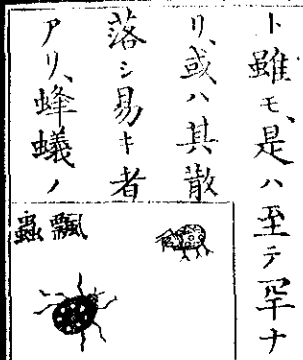
(効用)

羣蜂ノ釀生スル蜜漿黃蠟ハ頗
ル果物糖ニ富ムヲ以テ藥用其他ニ
供ス

(附說)

時恰モ初冬木葉落チ草蕪枯レ
寒風凜々四望蕭殺時ニ惘然タル一
蟲齎跂行シテ蜜蜂ノ巢ニ至リ叩頭

誠ニ透明ナリ、而シテ前翅ハ後翅ヨリモ大ナリ、後翅ノ前縁ニ小鉤アリ、其後縁ハ彎曲シテ、前翅ヲ超ニ然リトモ、飛揚スルニ方リテハ、兩翅相聯結ス、又、羽翅ヲ具セザル者アリト雖モ、是ハ至テ罕ナリ、或ハ其散落シ易キ者アリ、蜂蟻ノ



シテ、己カ不用意ヲ謝シ、貯藏ノ蜜漿ヲ乞フ、蜂冷笑シテ若干ノ蜜漿ヲ與ヘ、厚ク來年ヲ戒ム、蟲蝨大ニ耻チ去レリト、夫レ人幼ニシテ學バザレバ、老年ニ至リ、此蟲蝨ノ如シ、勉メザル可ケンヤ、

甲翅類

名稱 飄蟲

部分 頭最モ小ニシテ、全體機關ノ要部皆茲ニ集マル○鬚一對アリ、脚六

種族皆之ニ屬ス

第二目甲翅類

此類ニ屬スル者ノ徵標ハ、羽翅ノ形狀ナリ、前翅ハ硬化シテ自カヲ翅蓋トナリ、而シテ後翅及ヒ軟弱ナル脊部ヲ蓋フ、故ニ能ク體ヲ被覆スト雖モ尚短クレテ



箇、孰レモ短シ、○甲圓クレテ扁平ナリ、色及ビ斑點一樣ナラズ、

常習 通常路傍ノ草蕪ニ栖息ス、物アリ、之ニ觸ルレバ、高ク空中ニ飛揚ス、

効用 此蟲ハ、植物ヲ害セズ、其螟蟲ノ時ハ、蚱蟲ヲ食テ生活ス、誠ニ一ノ益蟲タリ

名稱 葛上亭長地膽

部分 頭小サケ、鬚一對アリ、脚六箇ナリ、○甲小ニシテ全身ヲ蓋ハズ、地膽

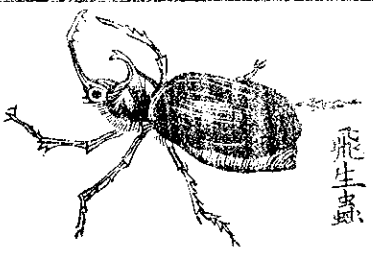
腹部ノ全ク露出スル者或ハ腹部ノ數環露出スル者罕ニ之ナキニアラズ、是ヲ以テ飛揚ノ用ニ供スル者ハ唯後翅ノミ、此類蟲ノ静止スルキハ常ニ縱横ニ翅ヲ疊ミ、之ヲ翅蓋ノ下ニ入ル、○頭ニ口吻アリテ、喫齧咀嚼シ、眼ハ集合シテ、多クハ副眼ナシ、觸毛ハ十二

ハ唯背ノ左右ニ小羽アルノミ、○色、葛上亭長ハ黑質ニ綠澤ヲ帶ビ、褐色ノ細條ヲ負フ、地膽ハ唯黑質ニ碧光アリ、○長皆一寸以下ナリ、

常習 葛上亭長ハ道畔ノ叢中ニ棲ム、時々、菽圃ニ襲來シ、悉ク食ヒ枯ラス、
1アリ、地膽ハ土中又ハ石間ニ棲ム、皆毒蟲ナリ、

効用 發胞劑ニ供用ス、
名稱 飛生蟲

節ヨ
リ成
リ、廣
キ柄
アリ
テ胸

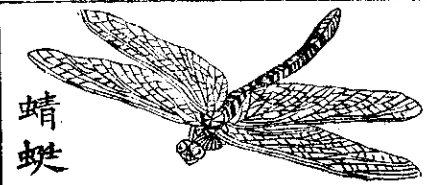


部ト中胸部ヲ節合シ動作ニ便ス、又其體蛆ノ如キ者アリト雖モ、頭部ト胸部ト著ルク別レ、胸及ビ腹部ニ足ヲ具フ、皆燈光ニ近ッ

部分 頭小サク、頸大ナリ、眼、骨眼ニシテ小サシ、脚六箇ヲ具ス、○角、頭上ニアル者ハ大ニシテ、末、又ヲナシ、頸邊ニアル者小ニシテ、其末亦又ヲナス、
○色、黑色、角ナキ者ハ雌ナリ、長、三寸内外ナリ、

常習 元來、蟻蟪ノ羽化スル者ニテ、多ク、皂莢樹ニ集マル、故ニ一名「サイカチムシ」ノ稱アリ、晝間ハ静止シ、夜間ハ飛揚ス、

クノ性アリ此種族ハ今人知ル所八萬種ニシテ他ニ化石シタルモノ一千有餘アリ



蜻蛉

龍蝶金龜子、蟻、ミチヲシヘ飛生蟲、斑登、葛上亭長、米牛、天牛、瓢蟲、地甲蟲ノ種屬實ニ夥多

羅翅類

名稱 蜻蛉

部分 頭小サク、眼大ニシテ凸出ス、翅

狭ク長クシテ、構造恰モ紗ノ如シ、○

脚六箇アリ、下體細長ニシテ、數環ヲ

嵌合シタルガ如シ、○色、及ビ大サ、種

類ニ由テ區々ナリ、

常習 其種類ニ由テ、白晝或ハ黄昏ニ

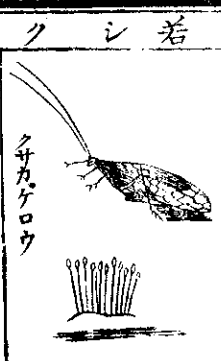
飛翔シテ、蚊又ハ小蟲ヲ食フ、

効用 此種類ハ皆害蟲ヲ捕食スルヲ

トリ、皆此類ニ屬ス

第三目羅翅類

此類ニ屬スル者ハ、其數以ナシ、觸毛ハ絲狀



クサカゲロウ

ハ、硬毛狀ヲナシ、且數節ヲ具ス、口部ハ喫嚙ニ便ナラズ、顎ハ多ク發育セズ、頸部ハ胸部ニ向テ動作シ得ベク、

以テ、害蟲驅除ノ効アリ、童子輩徒ラ

ニ蜻蛉ヲ殺ス勿レ、

名稱 クサカゲロウ

部分 頭小サク、眼亦小サクシテ、頭ノ

左右ニアリ、頸一段ナリ、○口、長柄ノ

鉤一對ヲ有ス、鋸齒多ク附着ス、○體

ノ下部、蜻蛉ニ似タレ、氏一層短クシ

テ、肥ユ、○脚、蜻蛉ニ同シ、翅、蜻蛉ノ如

クナラズ、靜止ノキハ、體ノ左右ニ收

ム、○色、淡青色、大五六分アリ、

而ノ翼ハ大ニシテ、皮狀ヲナシ、翅蓋ニ變ズルヲナシ、
蜻蛉紺碧、赤卒、砂接子、
カサカサノ種族皆之ニ屬ス、

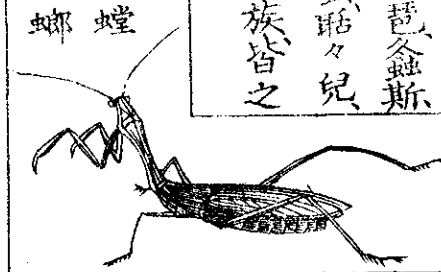
第四目直翅類

四翅アリ、網狀ノ脈絡ヲ具フ、聞、其不同ナル者アリ、然ル者ハ、前肢狭ク且直クシテ、膜様ヲナシ、後翅ハ皮様ヲ

〔常習〕 屋後樹邊ノ陰所ニ棲息飛翔ス、
〔効用〕 此蟪ハ、常ニ蚜蟲ヲ食フ、

〔附説〕 世俗、優曇華ノ壁上ニ生ズルヲ瑞兆ナリトテ、丁寧ニ巾箱中ニ納メ置クハ、古來ノ習慣ナリシガ、現ニ實學日新ノ際、古來優曇華ト稱セシモノハ、全ク「サカケ」卵ナルヲ發明シタリ、故ニ、人惑ヲ解キ、徒ラニ益蟲ノ卵ヲ箱底ニ腐朽セシムルヲナク、益其蕃殖ヲ慮リ、害蟲ヲ驅ラシメン

ナス、而シテ縱横ニ疊合ス、又、全ク羽翅ヲ具ヘザル者モアリ、口部ハ咀嚼ニ適シ、化生ヲ遂ゲズ、雌體ヲナサス、
螻蛄、螳螂、蟋蟀、金鐘児、
金琵琶、金龜斯、
蟲、蟬、蛄、兒、ノ種族皆之ニ屬ス、



一、期望ニ堪ヘザルナリ、
因ニ云フ、優曇華ハ、和名「タイサンボク」ナリ、蓋シ、其花莖談蟲ノ卵仔ニ似タルヨリ、優曇華ノ名稱ヲ下ダセシモノ乎、

直翅類

名稱 螳螂

部分 頭小ニシテ、形三角ヲナシ、頸細ク長シ、○脚前二足ハ長大ニシテ、末節ニ鋸齒羅列シ、狀恰モ鎌ノ如シ、○

第五目鱗翅類

觸毛ハ數節ヨリ成リ、
絲狀或ハ硬毛狀ニシ、
而シテ末端肥ユ、口部ノ
器官ハ發育セズ、下顎
静止スルキ
ハ捲テ螺旋
狀ノ舌ヲナ
ス、眼ハ圓形
ニシテ、副眼
ナケレド、罕
ニ之ヲ有ス



中二足ハ稍短ク、末二足ハ最モ長シ、

○翅、半身以下ニアリ、體容胸部細ク、

下部ニ至リ、漸ク肥ユ、○色、緑褐ノ二

種アリ、長二寸乃至三寸アリ、

常習 夏月、草蕪ニ栖ミ、前肢ヲ振リ、小

蟲ヲ捕食ス、

効用 害蟲ヲ捕食スル、最モ多キヲ以

テ、農家ノ益蟲ナリ、

名稱 螽斯

部分 頭大ニシテ、方形ヲナス、鬚一對

ル者アリ、

頭、圓形ニシテ、胸腹相密

着シ、胸ノ前部ニ鱗ヲ

被ムル、翅ハ大且ツ廣

ク、屋瓦狀ニ羅列シタ

ル、細鱗アリ、足六箇ノ

足根ヲ具フ、斯ク化生

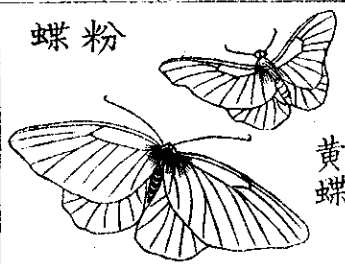
スル

前ハ

圓柱

形ニ

メ、全



黄蝶

鱗翅類

名稱 粉蝶、黄蝶、

部分 頭、眼俱ニ小ナリ、鬚長ク、翅大且

廣シ、○脚、六箇アリ、色、粉蝶ハ白、黄蝶

體ハ宛モ十二ノ小環ヲ相嵌メタルカ如シ足ハ十箇乃至十六箇ヲ具ス全體裸出ナリ此物自カラ繭ヲ造リ或ハ土中ニ堅固ナル被包物ヲ造リ而シ後チ蝶蛾ニ化生スルナリ蛱蝶鳳子蝶粉蝶黃蝶天蛾蚕蛾ノ種族皆此類ニ屬ス

第六目雙翅類

ハ黄ナリ、○皆粉即チ鱗多シ、大一寸内外ナリ、

常習 春夏耕圃ノ近傍ヲ飛翔シ、植葉ニ卵子ヲ生ミ、其生ヲ終ル、

附説 都テ蝶類ノ兒仔ハ、耕圃ノ植葉ニ生ジテ、葉莖ノ別ナク之ヲ貪食スル蠋類ナリ、此蠋類ハ、其皮ヲ蛻スル毎ニ、愈長大トナリ、益葉ヲ食ヒ、終ニ絲ヲ出シテ、繭ヲ造リ、蛹トナル、而メ後、化生シテ蝶トナリ、耕圃ヲ飛翔シ

羽翅二箇、硝子様ニシテ、枚線狀ノ脈絡ヲ有ス、二箇ノ後翅ハ、變シテ浮游胞トナル、口部ハ吮飲ニ便ス、眼、二箇、大ニシテ、集成眼ナリ、副眼三箇ヲ有ス、其位置額上ニアリ、全ク、化生ヲ遂ク、此類ノ蟲、腐敗物ヲ消耗スルヲ以テ、



テ、葉莖ニ卵子ヲ生ミ、再ヒ蠋類ヲ産ス、故ニ蝶類ハ、植物害蟲ノ母ナリ、勉メテ驅除セザル可カラズ、

名稱 蠶蛾

部分 頭小サク、體肥ヘ、翅蝶ノ如ク、潤大ナラズ、○色、灰白色ナリ、長、六七分

アリ、○體、小ニシテ、飛走スルハ雄ナリ、體、大ニシテ、飛走セザルハ雌ナリ、

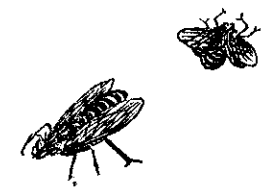
常習 春日、蠶蟲繭ヲ造ル後チ、數日ニシテ、繭ヲ破テ出テ、雌雄交尾シ、卵子

大ニ益アリ又、花ノ生
殖ヲ媒酌ス、
食蚜蟲、蠅、蜜、蝶、子、蚊、ノ
種族皆之ニ屬ス、

第七目半翅類

蟬類ハ即チ此類ニシ
テ、下翅ハ膜質、上翅ハ
半角質、半膜質ナリ、口

部ハ吸
收ニ適
ス、藥品
トナル



ヲ産ム、

(効用) 此蛾ハ多量ノ卵子ヲ産シ、蠶、蠅、

トナレテ、吾人必要ノ絹布ヲ成ス、効

用實ニ大ナリ、

(附説) 晝日、飛翔スルヲ蝶ト曰ヒ、夜間、

燈火ヲ見テ、飛翔スルヲ蛾ト曰フ、

雙翅類

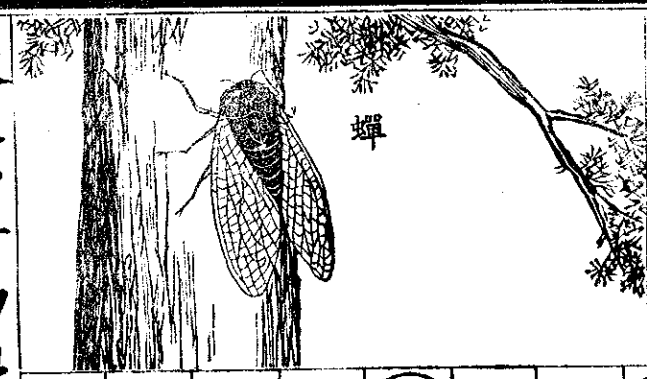
(名稱) 蟲

(部分) 頭小ニ、眼、大ナリ、鬚短ク、背ニ横

節アリ、嘴、最モ銳シ○翅、薄クシテ、大

モハ多シ、

蟬母、蟬、馬、蠅、茅、蠅、
蟬、寒蟬、等之ニ屬ス、



ニ、脚、六箇アリ、色、黒クシテ、黄色ノ斑
條アリ、長、大小種々ナリ、

(常習) 夏月、隨處ニ産シ、牛馬ノ血ヲ吸

テ、生活ス、畜類ノ害ヲナスヲ、少ナカ

ラス、

(附説) 蜜ノ一種ニ食蚜蟲ト云フモノ

アリ、常ニ、蚜蟲ヲ捕食シ、農家ニ益ヲ

與フ、

半翅類

(名稱) 蟬

(部分) 頭小ニシテ、稍、三角形ヲナス、眼、骨眼ニシテ、圓シ○喙長ク尖リ、翅身ヨリ大ナリ、脚六箇アリ○大サ、及ビ、色、種類ニ由テ一様ナラズ、黃赤色アリ、或ハ淡黑色アリ、淡褐色アリ、(常習) 元來、上中ニ産シ、數回蛻皮シテ、化生スル者ナリ、

啓蒙博物學卷二終

上

明治十七年一月廿八日版權免許
同年八月出版

定價金三拾壹錢

編者 静岡縣士族 小宮山弘道

岐阜縣下岐阜西都賀佐町寄留

出版人 東京府士族 原亮策

東京日本橋區本町三丁目十七番地

發兌 市橋龜吉

岐阜縣下岐阜西都賀佐町寄留